



Konan Institute of Human Sciences

甲南大学人間科学研究所（KIHS）は、文部省（当時）の学術フロンティア推進事業の助成を受けて行われた共同研究（1998-2002年）をより恒常的に進めるため、2002年11月1日に開設されました。

その後、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成によるプロジェクトも含め、「現代人の心の危機」を鍵概念として、Phase 1～Phase 5に渡る研究および実践活動を展開してきました。人間科学科および人間科学専攻を核にしながらも、学部、研究科から独立した研究組織として、学内のさまざまな学部、研究科の研究者の参加と、学外の客員特別研究員の参加によって学際的な研究体制を築いています。現在は、「子ども・子育て」「トラウマ（戦争、災害、虐待、暴力等）、人生史、記憶」などを研究テーマに掲げ、過去から現代にいたるさまざまな困難な状況を理解するとともに、未来への展望を描くことを目指しています。

『心の危機と臨床の知』の発行は、研究事業設立前の研究プロジェクトに遡りますが、研究所設立後は研究所紀要として継続刊行し、研究成果を掲載していません。